

「201703」

案件名

「FP4-ST音量規制について」

提案者

「南出・民谷」

1. 起案レベル(現場情報の展開、個人的なレギュ確認問い合わせ、レギュ改正、団体との打ち合わせ情報展開、新提案、等々)  
「団体との打ち合わせ情報展開 / 選手会内でのレギュフォロー(紳士協定提案)」

2. いつ

「即時・7/16生駒マルチ杯レースより」

3. 誰が

「賛同者のみ」

4. どこで

「7/16～」

5. クラスと対象レース

「FP4-ST」

6. 対象車種

「全て」

7. 内容詳細

問題点

①騒音被害者様(生駒近隣住人)への対策の説明内容、いつまでに?どれ位?が不明確(特に具体案が出ていないと思われる)

②音量に対しての規格は生駒独自の指定内容であり、マルチ杯側との整合性を現段階でも確認出来ていない。

③次のレース(7/16)からなのか?全国からなのか? 努力義務的な曖昧さがあり定まっていない。

④「来年にはまた変わるかも…」と参戦をためらう参加者の感情がある。

⑤早急すぎてマフラーメーカーがマフラーの準備を出来ない

特に③はレース結果に影響を及ぼしかねない為に7/16のレースにて早急に対応必要な懸案として上がっている。

今回の具体的対策内容

A-①③-1・選手会関係者を通じて「協力可能なライダーを募り」生駒指定の規定に合わせ音量対応。(南出、民谷は同意済み)

B-③④-2・紳士協定的に「生駒の定めた93db～で準備可能なトップライダーの～等は音量合わせて行く」との姿勢と内容詳細を打ち出す。

C-②④・選手会の事案に対する姿勢をHPにて下記のような内容を表明

「生駒指定の93db～を支持し、環境対応を軸として既存負担軽減と新規参加者拡大を目的として、来年度マルチレギュ改正へ向けて選手会は鋭意努力を行います」  
※意図(来年から93dbがスタンダードになるから、マフラー用意して今年から参戦しても無駄にはなりませんよ!!)

8. 考えられる良い影響

「参加検討者の後押し」

「実質的な音量を低減でき、トップライダー間での不公平をある程度解消出来る」

9. 考えられる悪い影響

「イコールコンディションへの悪影響」

「来年度のレギュが変わらなかった(今年が生駒特別ルールとなった)場合での参加者負担増」

※その為に「改正へ鋭意努力」とする

「9月の全国大会でマルチ誌側が改めて作るレギュにて90db(例えば)と言った更に違う基準へ変更された場合に参加者負担増となる」

10. 自身の意見

「可能であるなら他のトップライダーもマフラーメーカーを説得し対応して欲しい」

11. 内容について、各レース主催者への進言要否

「要: SL生駒と主催者」

11.-1 主催者団体への承認行動

「不要」

11.-2 レギュレーション内容修正の是非

「要」

11.-3 情報の公開レベル

「当内容書面をHPへ開示」

12. レギュ改正まで選手会独自の決定事項として扱うか?

「扱う(紳士協定レベル)」

13. その他

「早急決議が必要な為、既読1日以内に意見あれば連絡」

※当日にモトチャンプ誌への依頼実施

以上。